

館林市下水道事業ウォーターP P P業務委託

優先交渉権者選定基準

令和8年7月

館林市都市建設部下水道課

目 次

1 審査の概要.....	1
1-1 選定の方法.....	1
1-2 評価委員会の設置.....	1
1-3 審査方法.....	2
1-4 審査結果の公表.....	3
2 審査の内容.....	3
2-1 提案審査.....	3
2-2 優先交渉権者の選定.....	3
3 総合評価点の算出方法.....	4
3-1 配点方針.....	4
3-2 提案書類の審査項目等.....	4
3-3 評価点の得点化方法.....	4

1 審査の概要

1-1 選定の方法

本業務では受託民間事業者（以下「事業者」という。）に、館林市（以下「市」という。）が実施する公共下水道事業、農業集落排水事業及び地域し尿処理事業に係る処理施設並びに管路施設（以下「下水道施設等」という。）の運転・維持管理に加え、下水道事業に係る各種計画策定等に関する専門的な知識とともに、創意工夫やノウハウによる効率的・効果的なサービスの提供及び事業運営が求められる。このため、提案内容を総合的に評価することが必要であることから、本業務を実施する事業者の募集及び選定は、公募型プロポーザル方式により行う。

1-2 評価委員会の設置

市は、客観的な評価を行うために、館林市下水道事業ウォーターＰＰＰ業務委託プロポーザル評価委員会（以下「評価委員会」という。）において、技術提案等の審査及び評価等を行う。

評価委員会の委員は、表１に示すとおりである。

なお、本業務に応募しようとする者やそれと同一と判断される団体等が、本業務の内容に関して情報を得るため、委員に対して、直接、間接を問わず接触を試みた場合、当該応募者は、本業務の応募参加資格を失う。

表１ 評価委員会委員

役 職	委 員
委員長	館林市都市建設部長
委員（外部）	群馬県県土整備部下水環境課長
	地方共同法人日本下水道事業団ソリューション推進部調査役
委員（内部）	館林衛生施設組合事務局長
	館林市都市建設部下水道課長

1-3 審査方法

審査は、評価委員会における提案審査からなり、図1に示す手順で実施し、優先交渉権者の選定を行う。

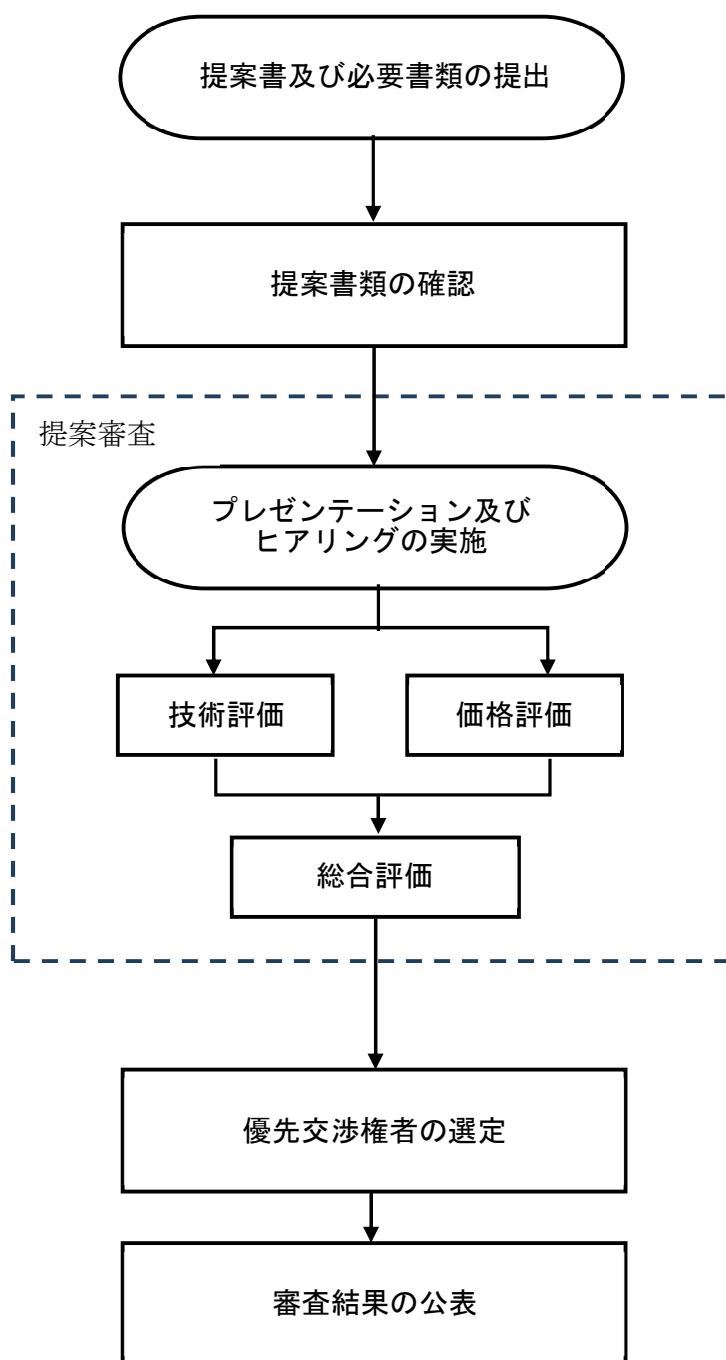


図1 審査手順

1-4 審査結果の公表

市は、審査の結果及び評価の内容について、優先交渉権者の決定後、速やかに提案者全員に対して評価結果通知書により評価結果を通知するとともに、市のホームページへの掲載により公表する。

2 審査の内容

2-1 提案審査

提案審査では、プロポーザル参加意思確認書を提出し、参加の意思がある旨を示した者（以下「提案者」という。）から、提出書類作成要領に定めるところにより作成された提案書及び必要書類を受け付ける。

評価委員会は、優先交渉権者選定基準に基づくプレゼンテーション及びヒアリングによる提案内容の確認を踏まえ、審査を行う。

提案審査は、技術評価に基づく点数（以下「技術評価点」という。）と、応募者の提案した参考見積金額の点数（以下「価格評価点」という。）を基に、次の式によって総合評価点を求めるものとし、総合評価点が最も高い提案を最優秀提案として選定する。なお、総合評価点が同点となる場合は、技術評価点が高い提案を行ったものを最優秀提案として選定する。

また、提案内容が要求水準書に定める事項を満たしていない場合は、失格とする。

$$\text{総合評価点} = \text{技術評価点} + \text{価格評価点}$$

2-2 優先交渉権者の選定

市は、評価委員会の審査結果を踏まえ、優先交渉権者及び次点交渉権者を選定する。

なお、応募者（応募グループを含む。）が1者であった場合でも、本業務の目的を達成する上で十分な提案内容であると認められ、かつ、総合評価点の平均が満点の6割以上である場合は、優先交渉権者として選定する。

3 総合評価点の算出方法

3-1 配点方針

総合評価点は、前述の技術評価点及び価格評価点で構成され、その配点は、それぞれ 90 点及び 10 点を満点とする。技術評価点と価格評価点を加算して得られる合計点を総合評価点（100 点満点）とする。

技術評価は、「3-2 提案書類の審査項目等」に示す評価項目ごとに行う。

技術評価及び価格評価の得点化は「3-3 評価点の得点化方法」に基づき得点化し、その後、技術評価点と価格評価点の点数を合計した総合評価点により、最優秀提案者及び次点提案者を選定する。

3-2 提案書類の審査項目等

技術評価点及び価格評価点の算出に当たって、提案書類の審査における評価項目、評価の視点及び配点は、別紙「評価項目及び評価の視点」のとおりとする。

3-3 評価点の得点化方法

(1) 技術評価点の得点化方法

技術評価点は、評価の視点ごとに表 2 のとおり 4 段階の評価を行い、得点化する。

表 2 技術評価基準

評価	評価内容	評価点
A	提案内容が具体的であり、特に効果が期待できる内容である。	配点×1.00
B	提案内容が具体的であり、効果が期待できる内容である。	配点×0.75
C	提案内容が、一般的な内容である。	配点×0.50
D	上記以外（具体性に欠くなど）	配点×0.10

(2) 価格評価点の得点化方法

価格評価点は、次の式により得点化する。なお、価格評価点は 10 点を上限とし、小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位で求める。

$$\text{価格評価点} = \text{配点（10 点）} \times (\text{最低提案額} \div \text{当該応募者の提案額})$$

評価区分		評価項目	評価の視点	配点
技術 評価	Ⅰ. 全般	1. 提案概要	・ 本事業の目的、背景、地域特性を的確に理解し、全体を通じてどのように事業運営していくかの基本理念が明確か。 ・ 管理・更新一体マネジメント（レベル3.5）の特性を理解した上で、官民連携のあり方が具体的に示されているか。	4
		2. 事業実施方針	・ 3事業（公共下水道、農集排及び地域し尿）の現状及び課題を理解し、課題と対応策の整合が図られているか。 ・ 3事業一体運営の効果を最大限発揮する方針が、中長期的視点で具体的に示されているか。	4
	Ⅱ. 技術 提案	3. 統括管理業務	・ 事業者の構成企業の役割分担及び責任分担が明確で、意思決定プロセス及び指示系統が明確か。 ・ 統括遂行責任者、各業務主任技術者及び有資格者の人員配置計画、体制について適切な提案となっているか。 ・ 現場からの支援要請に対する組織的なバックアップ体制が構築されているか。 ・ 要求水準未達とならないための対策及び未達の場合の対応は適切か。 ・ 各業務を一体的にマネジメントすることの利点を活かした有効な提案及び課題を克服する提案が述べられているか。 ・ 維持管理情報の蓄積方法及び管理方法が具体的かつ効率的な提案となっているか。 ・ セルフモニタリングの実施方針及び改善方法が具体的かつ適切な提案となっているか。	14
		4. 管路管理業務	・ 各業務の考え方や、効率的な実施方法が提案されているか。 ・ 不測の事態等により緊急的な対応が必要となった場合における、市との連携体制や考え方が適切な提案となっているか。 ・ 予防保全的な視点を持ち、効率的かつ効果的な点検調査方法（内容、実施時期等）が提案されているか。 ・ ライフサイクルコストを最小化する観点から、修繕を行う判断をする具体的基準が示されているか。	10

評価区分		評価項目	評価の視点	配点
技術評価	Ⅱ. 技術提案	5. 処理場・ポンプ場等管理業務	- 各業務の考え方や、効率的な実施方法が提案されているか。 - 運転操作及び監視業務において、運転管理計画、管理目標及び平日・夜間・休日の体制等について具体的な提案がされているか。 - 水量管理、水質管理及び汚泥処理の要求水準を満たすための具体的かつ適正な運転及び管理方法が提案されているか。 - 不測の事態等により緊急的な対応が必要となった場合における、市との連携体制や考え方が適切な提案となっているか。 - 保守点検の記録、報告、異常発見時の対処方法について提案がされているか。 - 保守点検及び整備において、実施内容、頻度及び予防保全的な視点を持った具体的な提案があるか。 - 水質及び汚泥分析における実施項目及び頻度等について具体的な提案がされているか。 - ライフサイクルコストを最小化する観点から、設備修繕の判断基準及び体制等が示されているか。 - 電力及び薬品等のユーティリティに対するコスト削減の方策及び実施方法について具体的な提案があるか。 - 施設の美化及び環境整備に対する具体的な取り組みの提案があるか。	28
		6. コンサルタント業務	- 運転維持管理及び点検調査で得られたデータを各計画に反映する、管理・更新一体マネジメント（レベル3.5）の利点を活かした提案があるか。 - ストックマネジメント計画の精度を向上させるための具体的な方針が提案されているか。 - 人的及び財政的な実行性のある経営戦略を策定するための具体的な方針が提案されているか。 - ストックマネジメント計画と経営戦略を中核に、各計画の具体的な策定の考え方が示されており、各計画間の整合を図るための方策について提案があるか。 - 各種施策の連携及び調整を図る上で配慮すべき事項について提案があるか。	14
		7. 危機管理対応	- 館林市の特性や実情に応じた危機管理マニュアル策定の提案がなされているか。 - 想定される災害や事故等における対応方法について具体的な提案があるか。	4
	Ⅲ. その他	8. 地域貢献	- 館林市及び周辺地域からの積極的な雇用及び物品調達についての提案があるか。 - 住民サービスの向上が期待できる提案となっているか。	4
		9. 追加提案	- ICT（情報通信技術）を活用する等、新たな技術の提案等について検討しているか。 - その他本事業に効果のある提案があるか。（自由記入）	4
		10. プレゼン・ヒアリング	- 取組意欲が感じられ、提案書の内容に沿った分かりやすい説明であったか。 - 質問に対する回答が的確であったか。	4
	価格評価	11. 提案価格	配点×（最低提案額÷当該応募者の提案額）	10
評価点合計（技術評価+価格評価）				100